

- 1 審議会名.....平成24年度安曇野市健康づくり推進協議会（第2回）会議
- 2 日.....時.....平成24年8月29日.....午後1時30分から午後3時05分まで
- 3 会.....場.....穂高健康支援センター 問診室
- 4 出席者.....武井委員、伊藤委員、下條委員、中村委員、北澤委員、宮澤委員、板花委員、平倉委員、宮島委員、高橋(利)委員、田口委員、渡辺委員、松田委員、  
.....(欠席：高橋(陽)委員、鈴木委員).....
- 5 市側出席者.....太田健康推進課長、奥村課長補佐、高橋係長、塚田係長、久保田保健師、上  
.....条保健師、岩原管理栄養士、笠井歯科衛生士、関主査
- 6 公開・非公開の別.....公開.....
- 7 傍聴人.....0人.....記者.....0人
- 8 会議概要作成年月日.....平成24年9月4日

協 議 事 項 等

- 1 会議概要
  - 1 開 会
  - 2 会長あいさつ
  - 3 協議事項
    - (1) 計画策定までの流れ(事務局説明)
 

(事務局) 前回は策定までの流れを説明したが、計画策定のためのアンケートは行わない。食育計画のためのアンケートは今年度行うため、それに健診受診率や、特に意見として調べたいことは載せる予定。目標値としては利用しない。
    - (2) 安曇野市の現状と課題について(事務局説明)
      - ・成人保健について
      - ・母子保健について
      - ・栄養、食生活について
      - ・歯科保健について

(板花委員)健診の受診率が低い。病気や寝たきりになると医療費がかさむ。勤めている時はいわれるが、定年以降、受診を勧められても強制力はないけれど、病気になりやすい。強制的に受けさせるシステムがないと、希望者だけでは難しいか。
    - (3) 安曇野市の現状分析(意見交換)
 

(委員 )食塩の摂取は測られているが長野県の数字か。  
(事務局)県の値であり、安曇野市のは出していない。目標より高めである。  
(委員 )課題をもっとうまくまとめられないか。介護・重症化のためになどの文章は不要。最終的に必要な事は行かに健診を受けてもらうか、がん検診を受けてもらえるのかにある。また、安曇野市の食生活などの実態はどうか、データが取ればまとめられるのか。またここには運動が入っていないが、成人には重要と考えるが記載がない。  
(事務局)安曇野市で取れないデータは県の者を利用している。市で取れるのは検診に基づくもの。今後、調査が必要であれば、計画の中に『今後調査』で入れていくこともできる  
(委員 )全ての年代において禁煙は大事なリスクファクター。もう少し大きく入れてほしい。自分の医院に来た人も妊娠時の喫煙15%、以前吸っていた人が17%、73%は全く吸っていないと答えた。実際はもっと多いかもしれない。母子手帳をもらう段階で禁煙ではなく、妊娠を望むなら禁煙というのはすごく大事。たばこ病リストがあるのでお渡ししたい。

(事務局) 低年齢では市の指導が入りにくい、学校での対策はどうか。

(委員) 小学校は高学年では話したり、ポスターを張っている。

(委員) 中学校では保健体育に指導が入っている。また、2・3年に1回は講演会を行っている。

(委員) 健康寿命の事がいわれるが、安曇野市はどうか。

(事務局) 市町村では計算方法が決まっていない。松本市では独自計算をしており、それを使用すると、松本市とほぼ同じくらい。女性では平均寿命との差が5.5年と長く、男性は2年。9月末に国が一定の計算式を出すというので、今後はそれを用いて、市町村比較をしたい。

(委員) 長野県は平均寿命が長いと言われているが、健康寿命は黄信号。特に女性が悪い。

(委員) 歯周病は自覚症状がない。小中学校のフッ化物洗口など、道のりは遠いがそれしかない。成人式で歯科検診をしているところもある。  
松本市ではインターバル速歩をして効果があったと聞いているので、事業として考えてもいいのではないか。

(委員) 歯科は12歳の虫歯保有率が減少しているが、低年齢の子にも基本的な生活習慣の確立が必要。

(委員) 子供の健診の結果でも、健康意識の低い家庭はある。また、不登校の子は健診すら受けていない。そのため、意識の低い人は健診を受けていないと思われる。

(委員) 健康課題は分かっていると思うが、市民にどれだけ危険をアピールできるかにある。間違った考えを持っている市民もいる。

また、行政組織がわかりづらい状況にあり、どこにどの係があるかわからない。以前は保健補導員がかなり声かけをしていたのも受診率向上につながったのではないか。

(委員) アピールが薄ければ意識が薄れる。食事のまとめも何gではどの程度かわからない。市民は数字では理解できない。

(委員) いろいろなデータがあるが、どうすればいいのか真剣に考えていければと思う。

(委員) 推進員になっても、地域へ広めるのが難しい。今後の推進員の課題となっている。

(委員) 運動がのっていない。安曇野市は車社会と感じる。もっと運動を取り組みに入れてもいいのではないか。

(委員) メタボ予備軍が増えているというが健診を受けていない。受けない人の把握はしているか。新規の人が値が悪いというが、なぜ受ける気になったのか。受けない人の指導が必要。また、塩分も平均はいいように見えるが、どうか。

(事務局) 塩分は摂取量の個人差が大きい。たくさんとっている人には指導が必要と考える。

#### (4) その他

(事務局) 前回の委員会で、小中学生の血液検査について質問が出ていたので、昨年度の結果をお出しした。対象は小5と中2で、両方900人以上が受けている。参考にしてほしい。

(委員) 次回、会議を早めに終了できるように、工夫してほしい。

今後の日程：次回会議 平成24年11月下旬頃の予定。